

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA)		
ナンバリングコード	E21201	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002427	クラス名	阿部ゼミ
担当教員名	阿部 裕香里		
履修上の注意、履修条件	皆がゼミに参加しているという意識を強く持ち、発言を必ず行いましょう。最初は、気恥ずかしいかもしれませんが、発言する自分に自信を育てていきましょう。無断欠席は、なるべく控えて下さい。事前に欠席の旨を伝えること、言えない事情や悩みがある場合は相談して下さい(個人の情報は死守します)。		
教科書	学生の状況により複数の書籍を使用、紹介します。		
参考文献及び指定図書	石黒圭(2012)『論文・レポートの基本』日本実業出版社。 近藤哲郎(2018)『ビジネスモデル2.0図鑑』中経出版。		
関連科目	経営組織論、経営管理論、コミュニケーション論、ビジネスモデル、キャリア		

○基本情報	
授業の目的	本ゼミでは、経営組織論やキャリアデザイン、組織コミュニケーションを中心に企業の問題や課題を見つけ、調査、分析を行い、プレゼンテーションや論文の完成を最終目標とする。ゼミでは、個人が企業の問題解決にそれぞれ興味を持ち、調査し、結論を出すことが求められる。発表、ディベート、論文の作成をすることで人に調査の結果を分かりやすく伝える。
授業の概要	経営組織論や実際の企業動向について自身で知識を身に着ける。また、同時に得た知識を人に分かりやすく説明する「プレゼンテーション」や「レポート、論文」の技術の習得を行う。得た知識を自身のキャリアデザインや将来組織に属した際にも活用が可能である。ゼミナールⅡAでは、特にレポート・文書作成の技術を身に着けることを目標とする。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	ゼミでの発言、興味関心の強さ、問題解決への真摯さ		20点	
【知識・理解】	経営組織論に関する知識の習得		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	人に分かりやすく、見やすく、説明することが出来る			30点
【思考・判断・創造】	資料や証拠を元に自身の考えを持ち、課題解決を行うことが出来る			30点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は、受講態度、ゼミでの発言、レポート、プレゼン資料内容より評価します ・期末試験は実施しません。代わりに最終レポートを課します。 ・レポートや課題のフィードバック方法: 添削後、評価及びコメントをつけ学生に返却します

○その他
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価基準 <p>S(100-90点): 特に優れた成績を表す。 A(89-80点): 優れた成績を表す。 B(79-70点): 妥当と認められる成績を表す。 C(60-69点): 合格と認められる最低限の成績を表す。 D(59点以下): 合格と認められる最低限の成績に達していないことを表す。再試験受験可能。 E(59点以下): 合格と認められる最低限の成績に達していないことを表す。再試験受験を認めない。</p>

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA) 阿部 裕香里	授業コード	E002427
学修内容				
1. オリエンテーション ゼミナールⅡAについて今後の計画について説明を行う。				
予習	シラバスの確認を行う			約2時間
復習	今後の方針を確認する			約2時間
2. 論文の構成の考え方 論文とは何か、どのような章で作られるのかといった論文の構成について学びます。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間
3. 問う—目的 研究について問いを立てるといことについて学びます。なぜそのようなことが起こるのか、調査を行う目的は何かについて学習します。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間
4. 調べる—先行研究 研究は、多くの人によって調べられた蓄積があります。今まで蓄積された研究を元に自分の研究がどのような位置づけを行うかについて学習します。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間
5. 選ぶ—資料と方法 研究における調査では、資料を探さることが必要です。選ぶべき資料とその手段について学習します。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間
6. 確かめる—結果と分析 資料を集めた後、研究の問いに関係する情報をまとめ、結論の出し方、どのようにして結論を出すのかについて学習します。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間
7. 裏付ける—考察 調べた情報や資料は、本当に正しいものなのかどうか、結論は妥当なものかどうかといった裏付けの方法や考察について学習します。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間
8. まとめる—結論 その論文・レポートは一体何を言いたいのか、まとめ、結論の出し方について学習します。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA) 阿部 裕香里	授業コード	E002427
学修内容				
9. 校正する—提出前の原稿チェック 論文やレポートを書き終えた後には、誤字脱字がないか、正しい書き方がされているかどうかチェックが必要です。校正、原稿チェックについて学習します。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間
10. 論文の表現の考え方 論文は、普段話す言葉や書かれている文章とはやや異なります。論文に適した文章の表現を学びます。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間
11. 正確な言葉選び 論文では、より客観的な表現が適しています。どのような言葉を選択すべきなのかという正確な言葉選びについて学習します。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間
12. 正確な表記 論文には、引用や書き方にもルールがあります。論文の正確な表記の方法について学習します。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間
13. 論文専用の表現 論文には、独特な表現があります。論文専用の表現について学習します。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間
14. 論文の文体 論文には、独特な文体があります。論文専用の表現について学習します。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間
15. 明晰な文 論文には、読み手にとって分かりやすい文章を書く必要があります。明確な文を書くということについて学習します。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間
16. 明晰な文章展開 論文には、章によって文章が展開されていきます。論理的で明晰な文章展開について学習します。				
予習	報告資料の作成、発表の練習を行う、各自課題について独自に調査を行う			約2時間
復習	各章の内容・指摘・意見をまとめる			約2時間